

海老江振興会ニュース

No.81

発行日 令和2年1月1日
 発行所 海老江地域振興会
 発行責任者 杉浦 昇
 編集責任者 米本 進

年頭のあいさつ



地域振興会会長
杉浦 昇

新年明けましておめでとうございます。地域住民の皆様には、ご健勝で輝かしい新春を迎えの事とお慶び申し上げます。日頃は、地域の諸活動にご理解とご協力をいただき、深く感謝致します。

昨年は、地震や異常な経路を辿った台風、豪雨などにより、各地が災害を受け、気候や環境が地球規模で大きく変化していることを誰もが強く意識した年でした。わが地域では曳山まつり、住民運動会が中止となりましたが、物的被害は少なく安堵しております。しかしながら、今後とも災害への備えが必要かと思われまます。次に「海老江まつり資料館」が、昨年3月24日に開館致しました。地元はもちろんのこと、県内外からの見物客でにぎわっております。そして季節に相応しい企画がなされ、多くの品々

が展示されておりますので、「祭りがひも解く海老江の歴史」などを是非ご覧頂きたく、お願い致します。

また、昨年5月には新天皇が即位され、元号も「平成」から「令和」に変わりました。新時代の幕開けに相応しい地域の活性化策を検討していきたいと思えます。

さらに現在、国は高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし、人生の最後まで住み続ける事ができるように、「地域包括ケアシステム」の構築を推進しています。これを受けて射水市は高齢者が社会参加し、地域において自立した日常生活を営むことができる体制を整備するため、「射水市地域支え合いネットワーク事業」を本格実施しております。当地域振興会としても、今後は社会福祉協議会をはじめ関係諸団体と協議を深めながら進めていきます。そしていよいよ2020年、オリンピック・パラリンピックイヤー、開催が大変待ち遠しいです。日本中あげて応援しましょう。結びに、今年が地域住民の皆様にとって素晴らしい年になりますよう心からご祈念申し上げます。

げますと共に、より一層のご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



令和2年度予算要望を

射水市へ提出

昨年の8月31日、令和2年度予算に対する要望を射水市へ提出しました。

要望事項

- 1 交通安全対策について
 - ・ 道路標識等の設置
- 2 道路の改良について
 - ・ 防災に強いまちづくりのための東町地区内市道(6m)新設の要望
 - ・ 既存国道415号線が最近の大型車に耐えられないかの道路診断と対策実施
 - ・ 既存国道415号線側溝等の劣化にともなう危険箇所の点検修理(特に中町地区)
- 3 海老江海浜公園について
 - ・ 第2期工事の早期完成と背後地の計画見直し
 - ・ 現在の海水浴場の維持管理の充実強化とにぎわい創造の施策
 - ・ 人工リーフについては地元との合意した工事に

- より、早期の完成
- 4 海老江コミュニティセンターについて
 - ・南側空地のアスファルト舗装化（駐車場の増設）
- 5 海老江児童センターについて
 - ・既存の和式トイレ（3箇所）を洋式に改装
- 6 防波堤の安全対策について
 - ・海老江地区内の防波堤亀裂箇所等の点検修理
- 7 高波、浸食対策について
 - ・高波に対処する海老江海岸の抜本的浸食対策と工事促進及び流木等処理対策
- 8 グリーンベルトなどの樹木管理について
 - ・グリーンベルト・公園・ふれあい道路・漁火道路の樹木を定期的に剪定し、環境整備の実施
- 9 東明七軒の街灯について
 - ・東明小学校と富山高専間の南北道路が夜間暗くて危険なため街灯の増設
- 10 雨水対策について
 - ・国道415号線側溝等のジェット洗浄による全面清掃
- 11 石炭灰処分地の有効利用について
 - ・海老江地内の北陸電力㈱石炭灰処分場（B区画）の埋め立て完了後の有効活用
- 12 県道 七美・荒屋線の建設促進

民生委員・児童委員の選任

民生委員は、厚生労働大臣から委嘱され、それぞれの地域において、常に住民の立場に立つて相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努め、「児童委員」を兼ねています。

児童委員は、地域の子供達が安心して暮らせるように、子供達を見守り、子育ての不安や心配ごとなどの相談・支援等を行います。

尚、任期は令和元年12月1日～令和4年11月30日の3年間になります。

練合地区	矢後 近	再任
七軒地区	岸 豊美	新任
東町地区	茅野 ゆかり	再任
中町地区	荒井 豊美	新任
西町地区	渡辺 純吉	再任
浜開地区	野村 美紀子	新任

海老江まつり資料館

開館以来8ヶ月、たくさんの方々に見学をいただき感謝の言葉も頂戴いたしました。8月からの経過をご報告いたしますと、展示品などは、消防活動の歴史・射水線廃線の記録などの資料や写真を展示いたしました。

文化の日（11月4日）には、練合出身の日展鍔金作家の海内（かいだい）保先生をお招きして作品を展

示し、先生ご自身の作家活動を直接お伺いする機会を得ました。当日は、多くの同級生や町内の方々が聴講させていただきました。先生のご活躍の一反を拝見させていただきます。尚、当館に日展に出品された作品一点をご寄附いただきました事を合わせてご報告いたします。



第42回日展出品作品「光晶」



見学会においては、周辺地域の老人クラブ・介護施設の多数の方が見学に訪れ、ご好評をいただいております。10月23日には、県の教育委員会のメンバー総勢80名の方が視察・見学にこられ、曳山・獅子舞資料もさることながら、歴史資料の多さにビックリ、感心され「歴史伝承の大切さも学び大変感激しました」との感想もいただきました。また、東明小学校2年生45名の生徒が祭りの様子や海老江の歴史を見学され、その後、たくさんの方の質問がありました。特に曳山の歴史や海老江の名前の由来について関心を持っている生徒が多く、このことについては後世に伝承して行く事が大変重要であると改めて感じました。生徒たちからは、感謝の手紙を頂き展示品として飾ってあります。

今後については、お預かりしている展示品を季節催事に合わせ、随時展示していく事を打ち合わせております。なお、何かご提案があればコミュニティセンターまで連絡ください。



『海老江海浜公園』海水浴場祈願祭

海老江海浜公園の維持管理を射水市より委託されて、早いもので15年目を迎えました。

今年の海水浴場の安全祈願祭は、7月13日(土)に射水市長・市議会議長・県議会議員などの来賓や海老江地区各種団体長の出席のもと今シーズンの安全を祈願しました。終了後にはアトラクションとして東明小学校のブラスバンドの演奏が行なわれ、拍手喝采を浴び、海水浴場の安全祈願祭が無事終了しました。

なお、今年の利用状況につきましては、7月は天候に恵まれず利用者は伸びませんでした。8月に入ってから晴天に恵まれ、約2万6千人の方が訪れました。



納涼盆踊りの夕べ

8月3日(土)、「納涼盆踊りの夕べ」が海老江コミュニティセンター駐車場で盛大に開催されました。

午後6時半から子供たちに人気のストラックアウトゲーム、輪投げ、スーパースポーツ、ヨーヨー釣りが行われました。今年は、しゃみせん楽家さんの演奏と琉球國祭り太鼓の演武を披露していただき、大いに賑わいました。また、ビンゴゲームでは多くの子供たちが集まり、のじた音頭の盆踊りでは、たくさんの方が心を一つに輪踊りを楽しみました。

体育協会・児童クラブ・美味しんぼ・食生活改善推進協議会の模擬店も売り切れが出るくらい好評でした。地域の





賑わいづくりのため協力いただいた団体の方々には、本当に感謝しております。
海老江コミュニティセンターでは、これからも大勢の方に参加していただける行事を考えていきたいと思っております。是非、みなさまのご意見、ご要望をお寄せください。

第七十一回 平和祭

海老江地区では、毎年8月15日の終戦記念日に平和祭を開催し、戦没者追悼式を執り行っています。本年度も地域振興会が主催し、平和観音像前にいて市長代理、県議会議員、遺族会を含む各団体が参列し、地元僧侶の読経のもと参列者全員で戦没者を追悼し、平和と安全を祈願致しました。

あの悲惨な戦争を体験し語り継ぐ人達が少なくなるなか、戦後74年を迎えた今も戦争の引き起こす悲惨な現実を目の当たりにします。
私達は平和な世界を守り伝えるため、これからもこの平和祭を継続していきます。

なお、平和観音像は70年余り経過しており、ヒビ割れが随所に見られます。最近、自然災害が多くその保全について検討していきたいと考えております。

海老江地区敬老会

令和元年度海老江地区敬老会が9月8日(日)に海老江コミュニティセンターで開催されました。75歳以上の対象者447名のうち138名が参加されました。

式典では杉浦昇地域振興会会長の敬老を祝う挨拶の後、今年度米寿を迎えられた8名のうち出席された2名の方に県及び市よりお祝い状が贈られました。夏野元志射水市長からメッセージが届けられ来賓の方々の紹介後に懇親会へと移り、料理や飲み物を楽しんでいただきました。



アトラクションでは、おわら踊りが披露され、哀調を帯びた旋律と優雅な踊りに、うっとり堪能されていました。その後の庄司みずほさんの歌謡ショーでは、力強い歌声と話術に魅了され、またみずほファミリーによるかわいらしい歌に笑顔で楽しんでおられました。

今回も、振興会女性部、役員理事の方々に会場設営、受付、接待等のご協力をいただき、参加者の皆さんに楽しんでいただくことができました。ご協力ありがとうございました。

富山マラソン2019

10月27日(日)富山マラソン2019が開催されました。

当日は曇のち雨とあいにくの天候になりましたが、新湊大橋を通るコースに約1万3千人の方が参加されました。今回も堀岡小学校前給水所のボランティアとして海老江地区から約50名が協力し、富山マラソンの目玉である新湊大橋から駆け降りてきたランナーに声援を送りました。

ランナーの皆さんお疲れ様でした。ボランティア、沿道で声援を送った皆さんに感謝いたします。3年連続天候に恵まれず新湊大橋から立山連峰の景色が見られませんでした。来年こそ良い天気になり、すばらしい景色が見られ、ランナーの皆さんが気持ちよく走ってほしいです。

ち良く走れることを期待します。



海老江コミュニティ文化まつり

海老江コミュニティ文化まつりは、11月3日(文化の日)に地域振興会をはじめ各種団体や多数のサークルの協力のもと盛大に行われました。

このコミュニティ文化まつりは、日頃コミュニティセンターを拠点として活動が続けてこられたサークルの学習成果や個人の趣味・特技を発表し合い、その良さを認め合ってお互いにより一層の親睦を深めることを目指しています。

作品展示コーナーでは、絵手紙・ちぎり絵・書道・古着リフォーム小物・造花雑貨・寄せ植えなど、バラエティに富んだ作品が展示され見ごたえのある

ものでした。また、海老江子ども園の園児たちの絵が一面を飾り、海老江児童センターの子供たちの作品もかわいらしいものでした。

10時より女性部によるバザー、食生活改善推進協議会による試食コーナーがあり、今回もコミュニティセンター協力委員によるカフェが開かれ、おいに賑わいました。さらに、血圧・握力測定、交通安全等のコーナーも好評でした。

午後からはホールでのステージ発表があり、例年ながら特別出演の子ども園園児のかわいい音遊に会場いっぱい拍手が沸きました。どのサークルも日頃の素晴らしい学習成果を発表され、多くの観衆の目を引きました。

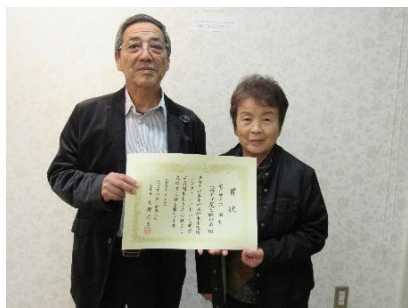


今回もこのように充実した海老江コミュニティ文化まつりが開催できたのも、住民の皆さんの熱意と協力のたまものであります。今後とも力強いご支援をお願い致します。

射水市花壇コンクール 『銅賞受賞』

海老江花と緑の会では、例年海老江コミュニティセンター前の花壇をグリーンキーパーや花と緑の会協力員の方々が草むしり・水やりを行ない、花を育てています。

射水市花壇コンクールは、今年度で14回目を迎え、初めて一般花壇の部門で銅賞を頂くことが出来ました。



昨年度までは努力賞や奨励賞でしたが、今年度はグリーンキーパーや協力員の頑張りのおかげで一つの賞を頂きました。今後は、さらなる銀賞・

金賞を目指して全員で頑張ってきたと思っています。しかし、協力員の方々が高齢化しているの
で若い方々の参加協力をお願いします。

《年中ボランティア募集中》

連絡先 海老江コミュニティセンター

カラオケクラブ

代表 新中 勉

地域の中でカラオケが大好きと言う仲間の強い
要望でカラオケクラブが発足してから10数年がた
ちました。今も古い歌から新しい歌まで幅広く練習
に励んでいます。

毎年、海老江
コミュニティ文
化まつりに出場
させていただき
一人一人が一生
懸命歌っており
ます。

先生はおりま
せんが、みんな
で励まし合って
少しずつではありますが練習の成果が上がってき



ています。そして、みんながカラオケのあるところ
では進んで歌っています。時には褒められたりして
活力になっていきます。これからも、楽しく愉快に歌
えるように努力していきたいと思えます。楽しく愉
快な『カラオケクラブ』にしたいと思えます。
なお、会員が少なくなってきたり、初心者の方
を募集しています。是非仲間入りしてください。

【活動日時】

毎週水曜日・金曜日 夜7時〜9時

太極拳サークル

代表 吉田 信子

健康で長生き、手軽に取り組める太極拳は如何で
すか？ ゆったりとした動きで、年齢を問わずに出
来る太極拳は、健康づくりに高い効果があると多く
の人々から親しまれています。

私たち太極拳サークルは、平成24年6月に発足
した当時10人の会員を募るのに苦労しましたが、現
在は19人で楽しんでいます。

月1回、先生を招き「太極拳入門」・「24式太極拳」
の2種類を習っています。各自の体調に合わせ、無
理せず、太極拳の曲を聞いているだけでも心が癒さ
れます。

海老江コミュニティ文化まつりの発表会に参加



【活動日時】

毎月第2・第4月曜日 午前10時〜12時
(会場の都合により変更になる場合有り)

後、反省会を兼ね
て親睦会を開いて
います。多くの会
員が参加し、これ
からも楽しく太極
拳を続けていきたく
いと思っています。
参加希望の方は
気軽に見学に来て
ください。加入は
随時受け付けてい
ます。

編集後記

第81号の発行にあたり、寄稿された皆様方には
お忙しいなか執筆して頂きありがとうございます
た。

半年に1回の振興会ニュースで地域の出来事
をどのように上手く伝えられるかが広報部員の頑
張りどころです。今後も盛り沢山の内容にしたいと思
っていますので、よろしくお願い致します。

N記